

## 令和元年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会

日 時 令和元年10月3日(木)

13時00分～

会 場 瑞浪市化石博物館レクチャールーム

### 1. あいさつ

### 2. 報告事項

- 1) 令和元年度事業中間報告について

### 3. 協議事項

- 1) 令和2年度事業実施計画について

### 4. その他

- ・次回化石博物館協議会の開催時期について

## 2. 報告事項

### 令和元年度事業中間報告

#### 1) 教育普及

##### ①企画展の開催（定期展示会開催事業）

- ・名 称 瑞浪市制 65 周年記念、令和元年度企画展「化石になった木とはっぱ」
- ・期 間 7月13日（土）～9月29日（日）  
※期間中入館者数：8,300名  
※企画展関連講座として「ケイカボクを磨こう」を開催した。

##### ②講座等の開催

- ・名 称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）  
開 催 日 毎月第1日曜日・第2日曜日（1～3月は第3日曜日）  
半日コースは通年（12回）、一日コースは4～11月（8回）。
- ・名 称 化石のレプリカを作ろう  
開 催 日 5月5日（日・祝）  
①10時30分～11時30分 ②13時30分～14時30分
- ・名 称 夏の体験教室～化石マイスター養成編～  
開 催 日 7月25日（木）、26日（金）、8月10日（土）  
9時30分～15時  
講 師 村宮 悠介氏（深田地質研究所）：7月25日、26日  
鈴木 苑子氏（筑波大学）：7月25日、26日  
西岡佑一郎氏（京都大学）：8月10日  
川瀬 基弘氏（愛知みずほ大学）：8月10日
- ・名 称 夏の体験教室～化石マイスター認定編～  
開 催 日 8月18日（日）9時30分～15時30分  
講 師 安藤 佑介
- ・名 称 化石・鉱物を使ってアクセサリーを作ろう  
開 催 日 6月2日（日）9時30分～11時30分、13時～15時  
講 師 安藤 佑介

- ・名 称 恐竜の模型を作ろう（入門編）（応用編）  
開 催 日 8月4日（日）  
9時30分～11時30分（入門編）、13時～15時30分（応用編）  
講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）

- ・名 称 ケイカボクを磨こう  
開 催 日 8月24日（土） 13時～15時

### ③イベントの開催

- ・名 称 瑞浪市制 65 周年記念 瑞浪市民公園「博物館に親しむ日」
- ・開 催 日 5月5日（日・祝）
- ・概 要 例年実施していたこいのぼり祭に代わり博物館に親しむ日と題して市民公園文化施設4館を無料開放し、スタンプラリー、各館で講座等を実施した。

### ④団体対応

団体名	対応日	人数	内容
中津川青年会議所	9月8日（日）	7名	展示解説
東海化石研究会	9月14日（土）	16名	展示解説・化石採集指導
岐阜市科学館	9月23日（月）	43名	展示解説・化石採集指導

### ⑤学校との連携

学校等団体名	対応日	人数	内容等
名古屋市立向陽高校	8月2日（金）	28名	展示解説・化石採集等
名古屋大学博物館	9月11日（水）	15名	学芸員実習（化石採集）

### ⑥出張講座

- ・みずなみかたりべの会講座：5月11日（土）、文化センター
- ・埼玉県立自然の博物館特別展関連講演会：7月20日（土）、埼玉県立自然の博物館

## 2) 資料の収集・活用と調査・研究

### ①資料の寄贈

下記の方々から博物館・市への化石資料の寄贈があった。

個人名・所在	点数	資料の内容
林信男・市内明世町	10点	市内産貝・コハク化石
安藤嘉章・市内薬師町	20点	市内産貝・サメ化石

深谷陽一・市内高月町	100点	珪化木・土岐石等
------------	------	----------

## ②外部研究者による収蔵資料の調査

9月までに研究のための収蔵資料調査が1件行われた。

- ・芳賀拓真（国立科学博物館）：生俵層産巻貝化石の調査（7月19日）

## ③収蔵資料の貸し出し

- ・みよし市立歴史民俗資料館

夏季企画展「東海の化石から探る、生きもの4億年」

7月10日から10月20日、デスモスチルス、イサナセタス等計7点

## ④調査・研究事業（化石資料調査収集事業）

### （1）調査

- ・北海道羽幌町：白亜紀の貝、サメ化石。

9月3日から7日にかけて北海道の羽幌町で調査を行い、白亜紀の貝、アンモナイト、サメ化石約40点を採取した。

### （2）研究

#### 1. 学芸員の研究テーマ

- ・九州産カニ化石の研究（担当：安藤、継続中）
- ・日本産オキナワアナジャコ属化石の再検討（担当：安藤、継続中）
- ・19世紀に外国人によって記載されたムカシエンコウガニ、ムカシメクラガニの国際動物命名規約に基づく諸問題の解決（担当：柄澤）
- ・生命の樹プロジェクト—十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究  
（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究）

4月～10月の間に下記論文が出版された。

Ando, Y., S. Kawano, and H. Ugai. 2019. Two new species of Decapods from the Eocene Sakasegawa Formation in Amakusa Islands, Kyushu, Japan. *Neues Jahrbuch für Geologie und Paläontologie* 293(1): 57-66.

Karasawa, H., and H. Kato. 2019. The identify of *Cancer (Arges) parallelus* De Haan, 1833 (Decapoda: Brachyura: Pilumnidae), a fossil crab described from Japan during the 19th century. *Journal of Crustacean Biology* 2019: 1-6.

Karasawa, H. 2019. *Galathea nasimae*, new name for *Galathea keijii* Tirmizi & Javed, 1993, preoccupied by *Galathea keijii* Karasawa, 1993 (Decapoda: Anomura: Galatheidae). *Zootaxa* 4590(2): 296-296.

#### 2. 大学等との連携

- ・名古屋市立向陽高校国際科学科：松ヶ瀬上流の河原に露出した戸狩層に密集した貝化石の研究に対する指導を行っている（5月～12月）。

- ・名古屋大学：大学博物館や理学部地球惑星科学科の実習に協力する。また、下記2件に関しては資料の提供を行った。
- ・瑞浪産エゾイガイ殻のストロンチウム同位体年代  
(担当：安藤、名古屋大学博物館と共同、今年度完了予定)
- ・瑞浪産エゾイガイ化石の酸素同位体比による古環境の復元  
(担当：安藤、名古屋大学博物館主導、研究協力)

#### ⑤古生物データベースの更新（資料検索システム管理経費）

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。現在、4,339点の標本が登録されている。

#### ⑥化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和2年3月に46号を出版予定である。現在8編（オランダ3編、日本5編）の論文が投稿されている。なお、今年度オンライン用のISSNを取得した。

#### ⑦展示資料等の購入（展示備品等購入事業）

- ・図書コーナー用図書：5万円
- ・クリーニング用コンプレッサー：日立製のベピコンを4月に購入。  
約20万円
- ・高圧洗浄機：別館の清掃、館外の清掃、地層見学地の清掃用。約4万円

## 資料

令和元年度入館者数

(単位：人)

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	平成30年度	比較
4	880	842	106	144	1,972	1,756	216
5	2,533	2,276	107	161	5,077	5,085	-8
6	649	515	95	192	1,451	1,288	163
7	972	751	65	110	1,898	1,990	-92
8	1,984	1,710	136	450	4,280	4,318	-38
9	1,152	1,015	99	200	2,466	1,753	713
合計	8,170	7,109	608	1,257	17,144	16,190	954

## 令和元年度野外学習地利用者

(単位：人)

月	個人組数	個人人数	団体組数	団体人数	組数合計	人数合計	人数 (H30)	比較
4	277	1,007	2	25	279	1,032	1,013	19
5	484	1,710	11	375	495	2,085	1,573	512
6	127	433	5	170	132	603	677	-74
7	163	546	2	57	165	603	839	-236
8	356	1,269	11	397	367	1,666	1,820	-154
9	216	737	6	141	222	878	728	150
合計	1,623	5,702	37	1,165	1,660	6,867	5,922	217

## 令和元年度みずなみ化石教室参加者

(単位：人)

半日コース		一日コース		上級コース	
開催日	受講者数	開催日	受講者数	開催日	受講者数
4月21日	31	4月21日	34		
5月12日	31	5月12日	30	5月25日	9
6月9日	31	6月9日	25		
7月14日	29	7月14日	26		
9月8日	25	9月8日	29		
開催日数 5日	147	開催日数 5日	144	開催日数 1日	9
				計 300人	

## 令和元年度各講座受講状況

(単位：人)

講座名	開催日	受講者数	定員
化石のレプリカを作ろう	5/5	14	20
化石・鉱物を使ってアクセサリーを作ろう	6/2	5組	10組
夏の化石教室養成編①	7/25	23	25
夏の化石教室養成編②	7/26	25	25
夏の化石教室養成編③	8/10	20	25
夏の化石教室認定編	8/18	6	20
恐竜の模型を作ろう (入門編)	8/4	18	20
恐竜の模型を作ろう (応用編)	8/4	12	15
ケイカボクを磨こう	8/24	10組	10組
合計 (6/2、8/24を除く)		118	150

### 3. 協議事項

#### 令和2年度事業計画（案）

##### 1) 普及活動の充実

###### ①企画展の開催（化石博物館展示会等普及事業）

- ・名称 令和2年度企画展「魚の化石展（仮）」  
期間 7月18日（土）～12月6日（日）  
目的 魚の化石について紹介する  
展示概要 本館収蔵のアメリカ、ブラジル産魚類化石とサメ化石を展示する（レクチャールーム2/3を使用）。
  
- ・名称 ミニ展示  
期間 年度内に2～3回実施  
展示概要 化石博物館のエントランスホールで収蔵標本を、テーマを設定して展示する。

###### ②講座等の開催（化石博物館展示会等普及事業）

- ・名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）  
概要 小学校中学年以上を対象とし、化石博物館ボランティアの解説・指導により野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり＋化石のクリーニング（1日コース）を行う。  
開催日 毎月1回  
定員 半日コース：30名、一日コース：30名  
参加費 半日コース 一般：500円、高校生以下：300円  
一日コース 一般：1,000円、高校生以下：800円
  
- ・名称 みずなみ化石教室上級コース  
概要 少人数による化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。  
開催日 5月23日（土）、10月24日（土）  
条件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者  
定員 15名  
参加費 一般：1,000円、高校生以下：800円  
(入館料、教材費、保険代含む)
  
- ・名称 化石・鉱物を使ってアクセサリを作ろう！  
概要 ウソシジミをノジュールから取り出し、鉱物などでデコレーションしたものをレジンで封入して標本作製する。

- 開催日 5月31日(日)  
 時間 13時から15時  
 定員 10組  
 参加費 一般：700円、高校生以下：500円  
 (入館料、材料費、保険代を含む)  
 講師 当館学芸員
- ・名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～  
 概要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。  
 開催日 7月30日(木)、31日(金)  
 8月8日(土)  
 時間 9時30分から15時30分  
 定員 25名  
 参加費 一般：1,200円、高校生以下：1,000円  
 (入館料、教材費、保険代を含む)  
 講師 村宮悠介氏、鈴木苑子氏、西岡佑一郎氏、川瀬基弘氏、当館学芸員
- ・名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～  
 概要 小学生4年生以上、化石マイスター養成編、化石教室上級コース修了者を対象とし、専門家の解説・指導により地層見学、柱状図作り、博物館別館で化石のレプリカ作り等を行う。  
 開催日 8月16日(日)  
 時間 9時30分から15時  
 定員 15名  
 参加費 一般：1,000円、高校生以下：800円  
 (入館料、教材費、保険代を含む)  
 講師 当館学芸員
- ・名称 恐竜の模型を作ろう(入門編)  
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。  
 開催日 8月2日(日)  
 時間 9時30分～11時30分  
 定員 20名  
 参加費 一般：1,200円、高校生以下：1,000円  
 (入館料、教材費、保険代を含む)  
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

- ・名 称 恐竜の模型を作ろう（応用編）

概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。

開 催 日 8月2日（日）

時 間 13時～15時30分

定 員 15名

参 加 費 一般：1,700円、高校生以下：1,500円  
（入館料、教材費、保険代を含む）

講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
  
- ・名 称 コハクの原石を磨こう！

概 要 瑞浪でも見つかっているコハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。

開 催 日 10月25日（日）

時 間 9時30分から12時、13時から15時30分

定 員 20名

参 加 費 一般：1,700円、高校生以下：1,500円  
（入館料、教材費、保険代を含む）

講 師 マイケル・クツ氏（コハクアーティスト）
  
- ・名 称 ケイカボクを磨こう！

概 要 岩石カッターで切断した可見市産珪化木を研磨剤で磨く。

開 催 日 12月13日（日）

時 間 13時から15時

定 員 10組

参 加 費 一般：1,000円、高校生以下：800円  
（入館料、材料費、保険代を含む）

講 師 当館学芸員

### ③出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

- 概 要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらおう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。

開 催 日 要望があった場合は随時（要予約）

講 師 当館学芸員

対 象 小学4年～中学3年

広 報 4月に教頭会、瑞浪地区の理科教育研究部会にて広報を行う。可能であ

れば多治見市や土岐市の理科教育研究部会でも広報する（この場合は、館内の案内対応のみ説明する）。

#### ④博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬から1週間、実習生を受け入れる。

期間 令和2年度は7月28日（火）から8月2日（日）を予定。

## 2) 資料の充実と調査・研究

### ①調査・研究事業（化石資料調査収集事業）

#### (1) 調査

- ・鹿児島県薩摩川内市：白亜紀のスナモグリ化石の調査、採集（8月）

#### (2) 研究

学芸員の研究テーマ

- ・野外学習地産シカ化石の新種記載（西岡祐一郎氏主導、研究協力）
- ・九州の十脚類（エビ・カニ）化石の研究（担当：安藤）
- ・日本産オキナワアナジャコ属化石の再検討（担当：安藤）
- ・19世紀に外国人によって記載されたムカシエンコウガニの国際動物命名規約に基づく諸問題の解決（担当：柄澤）
- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究）

### ②古生物データベースの更新（化石博物館資料・備品等購入整理事業）

引き続き収蔵資料のデータベース登録を行う。データベース公開用サーバーのOSの保証期間が来年度で終わるため、サーバーを新規に購入し、OSも入れ替える。実施計画に計上済み（事業費約170万円）

### ③化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和3年3月に化石博物館研究報告第47号を280部発行し、国内及び海外の博物館・研究機関等へ送付する。今年度オンライン用ISSNを取得したため、来年度は6月までに投稿された原稿については9月末に、6月～10月に投稿された原稿については3月中旬にオンライン公開を行う予定である。

### ④展示資料等の購入（化石博物館資料・備品等購入整理事業）

展示用化石標本等・図書類・研究用備品の購入を行う。

- ・図書コーナー用図書：5万円
- ・展示ケース：既存の物が劣化しているため、1台の購入を予算計上する。

### 3) その他

#### ふるさと納税返礼品に化石博物館関連のサービスを登録する件について

令和元年第1回化石博物館協議会で提案のあったふるさと納税返礼品について協議を行う。なお、市民協働課に問い合わせたところイベント等を返礼品として登録することは可能であり、ぜひお願いしたいと回答を得た。

(案) 化石採集プライベートツアー。

学芸員が申し込んだ家族を案内(年間3家族程度)。

午前中、博物館見学・化石採集。午後、別館で化石のクリーニング  
実施日は申し込んだ家族と連絡を取り決定する。

### 4. その他

#### (1) 次回協議会について